

2026 年 7 月 8 日

整形外科の入院診療を受けられた患者さんへ

「人工股関節置換術 SSI リスク要因の検証」について のお知らせとお願い

感染対策室では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。
皆様のご理解をお願い申し上げます。

研究の目的

当院で実施される人工股関節置換術の術後手術部位感染の発生頻度と、手術部位感染に関連がある要因を明らかにし、より効果的な感染予防対策を見出すことを目的としています。

研究期間

研究機関の長の研究実施許可日～ 2026 年 12 月 12 日

研究の意義

人工股関節置換術は高齢化に伴い件数は増加していて、疼痛緩和や機能回復などが見込まれる一方で、大きな人工物を使用する術式であり、術後の創部感染のリスクは低くありません。手術後の創部感染は手術の重大な合併症のひとつであり、患者さんの QOL（Quality of Life：生活の質）を大きく脅かします。本研究で手術部位感染に関連がある要因を解析することによって、より効果的な感染予防対策の検討に役立てたいと考えています。

研究の方法

研究デザイン：後ろ向き観察研究

対象：2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に、整形外科において、人工股関節置換術を受けられた方

利用する情報・試料の種類

利用を開始する予定日： 研究実施許可日

研究に用いる情報： 年齢、骨折病変の有無、対象関節の手術歴の有無、糖尿病の有無、膿性排泄の有無、検体からの病原体検出の有無、感染兆候（疼痛・圧痛・腫脹・発赤・熱感）の有無

研究に用いる試料： 該当無し

研究成果の取扱い

研究成果は、学会発表や論文として公表される可能性があります、個人が特定されることはありません。本研究の内容や研究結果等について質問等が生じた場合には以下の研究責任者まで問い合わせください。

個人情報の保護方法と情報・試料の取扱い

個人情報は研究用 ID に置き換えて管理します。対照表は研究責任者が施錠された場所にて保管します。

研究データ等は研究終了後 10 年間保管し、その後朝日大学の規則に従い廃棄します。

個人情報管理者

朝日大学歯学部長 玉置幸道

朝日大学病院長 日下義章

研究への使用について拒否をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。また、情報・試料が本研究に用いられることについて了承いただけない場合には使用しませんので、以下の研究責任者まで申し出ください。なお、本研究は、朝日大学病院医学倫理審査委員会において審査、承認され、研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への情報・試料の使用をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

本研究により生じる知的財産権（著作権、特許権など）は、研究者及び朝日大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

問い合わせ先（研究責任者）

朝日大学病院 感染対策室 副看護部長 尾崎明人

電話番号：058-253-8001（内線 2039）

苦情窓口

朝日大学病院 管理課

〒500-8523

岐阜県岐阜市橋本町 3-23

電話番号：058-253-8001



（2026 年 6 月 10 日改定）